

Canon

キヤノネット

QL17/19

使用説明書



お買上げ下さいましてありがとうございます。

キヤノネットQ L17, 19は小さな高級機としてキヤノネット発売以来400万台を越えるご愛用をいただいております。

昼夜を問わずE E撮影が続けられ、始めての方でも手軽に撮影を楽しめるばかりでなく、ご自分でシャッター、絞りを選択されてお使いになりたい方のご要望にも応えられる設計がされています。

キヤノネットQ L19は機能的にはキヤノネットQ L17と全く同じもので、姉妹機として高級性能をフルにご使用いただけます。この使用説明書はQ L17を基準に作成されていますが、キヤノネットQ L19にもそのままご利用いただけます。組込まれていない機構には注意書きで補足してありますのでご参照ください。

使用説明書は、カメラを理解するとともに、より良い使い方ができるよう説明されています。始めからよくお読みいただき楽しい撮影をお続けください。

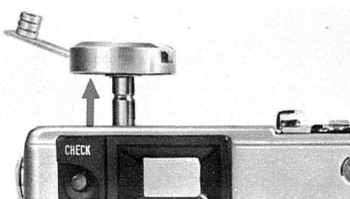
目 次

水銀電池をつめる	9
バッテリーチェック	10
フィルムをつめる	12
A S A 感度を合わせる	15
E E 撮影	16
フラッシュオート撮影	21
フィルムの巻戻し、取出し	26
手動絞り	28
セルフタイマー	30

EE撮影手順早わかり

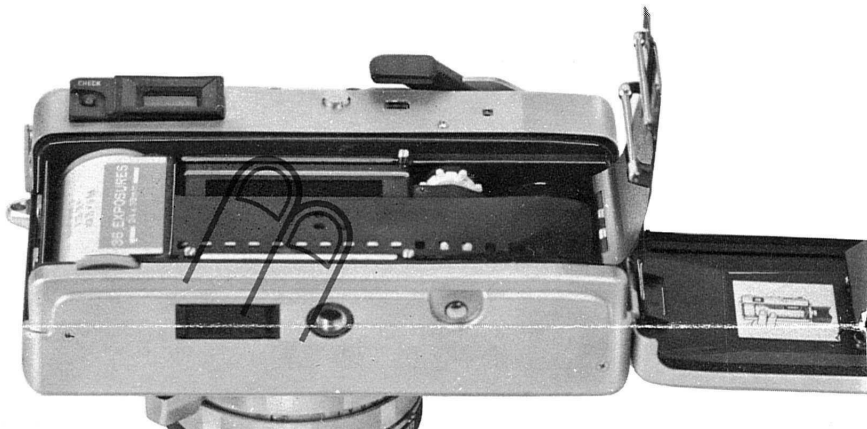
1

裏蓋を開く



2

フィルムをつめる(のせるだけの簡単なQL装填)



3

フィルム感度をセットします。



4

オートマークに
合わせて

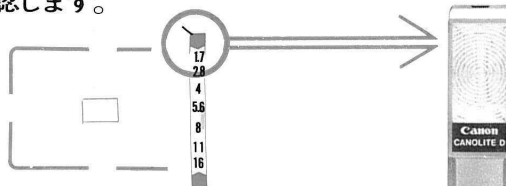
5

ASAレバーにお天気マークを合わせます。

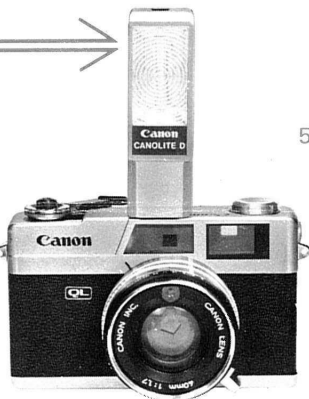




6 ファインダー内を確認します。

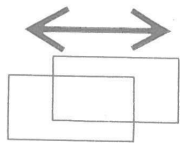


- ① 指針が上の赤マークにはいったときは専用E Eストロボ<キヤノライトD>を用いてフラッシュオート撮影。
- ② 1/30秒以下のスローシャッターのときも、<キヤノライトD>をつければ、ぶれのないきれいな写真がとれます。



7
8

ピントを合わせて

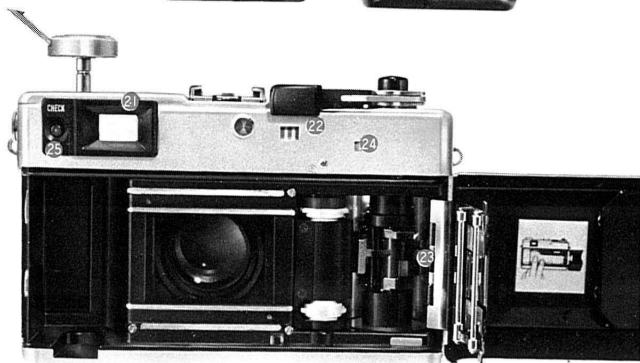


シャッターを切ります。





- ① シャッターリング
- ② ASA窓
- ③ 自動—手動切換えリング
- ④ A(AUTO)マーク
- ⑤ セルフタイマー・レバー
- ⑥ フォーカシングリング
- ⑦ フィルム枚数計
- ⑧ 巻戻しクランク
- ⑨ フィルム位置マーク
- ⑩ アクセサリー・シュー
- ⑪ フィルム巻上げレバー
- ⑫ シャッターボタン
- ⑬ 水銀電池室
- ⑭ 三脚ねじ穴
- ⑮ 巻戻しボタン
- ⑯ ターミナルカバー
- ⑰ バルブストッパー
- ⑱ フォーカシングレバー

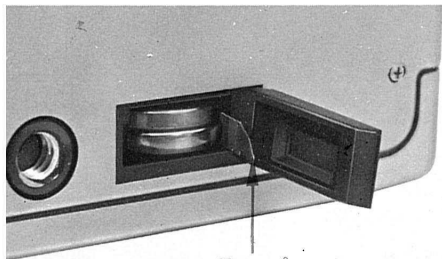


- ①⑨ ASA感度セットレバー
- ②⑩ お天気マーク
- ②⑪ ファインダー接眼窓
- ②⑫ フィルム送り確認窓
- ②⑬ QL(クイック・ローディング)機構
- ②⑭ シャッターチャージシグナル
- ②⑮ バッテリーチェッカー

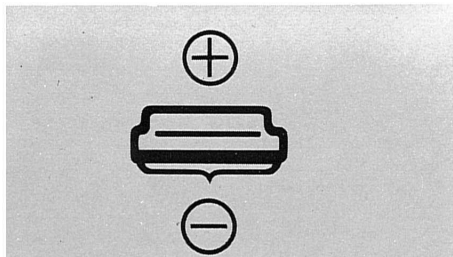
最初に各部の名称をおぼえると便利です



水銀電池室カバー

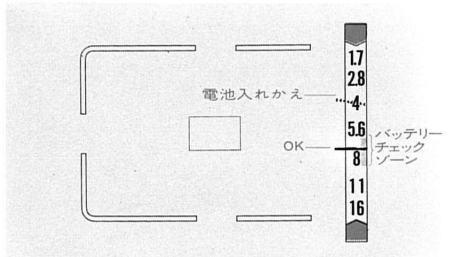


テープ



撮影の前に 水銀電池をつめてください

- 1 カメラ底部の水銀電池室カバーを矢印方向に押しながら引きこすと、カバーが浮上って開きます。
- 2 水銀電池の向きをまちがえないように入れてください。反対向きにははりません。テープは電池の下側になるように入れてください。
- 3 電池室カバーを押付けて閉じます。



● バッテリーチェックのしかた

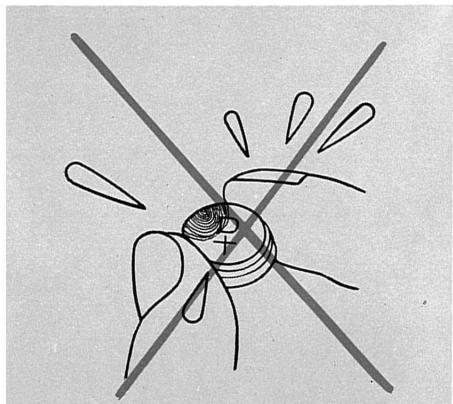
水銀電池は露出計の電源で、ふつう一年から一年半もちます。水銀電池の容量が尽きると露出計がはたらかなくなります。水銀電池が十分かどうか、バッテリーチェッカーによって調べることができます。

※キヤノネット Q L19にはバッテリーチェッカーはありません。

- 1 自動手動切換えリングを回してA(オート)をはずし、手動絞り(数値はどこでもよい)にします。
- 2 バッテリーチェッカーのボタンを押しながらファインダーをのぞきます。
- 3 指針がブルーのバッテリーチェックゾーン内にあれば電池は十分。その範囲から上にはずれていれば不十分ですから、電池をとりかえてください。



テープを引っばると
電池が出てくる



4 電池をつめかえるときは、カバーを開いたらテープを引っばってください。電池が出てきます。

水銀電池について知っておきたいこと。

●売っているお店は？

カメラの小売店に売っています。水銀電池にはいろいろな種類がありますから、このカメラの場合、かならず 1.3Vをお求めください。

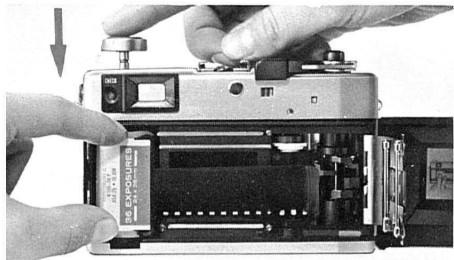
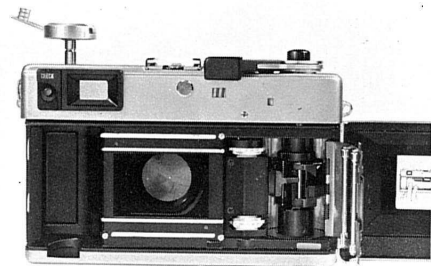
同一銘柄で、性能のよいものをお選びください。

●使用上気をつけることは？

水銀電池は汚れをきらいます。つめるときは、とくに中心部に汗や指紋をつけないようにしましょう。汚れていたら、ふき取って入れてください。

長期間カメラを使わないときは、拔出しておいたほうが長持ちします。

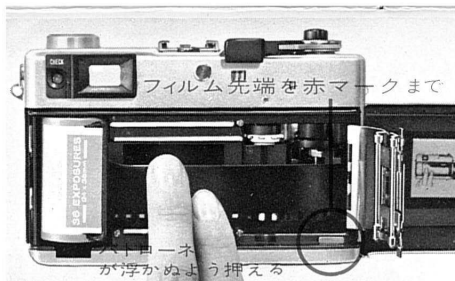
ノブ全体を引上げると
裏蓋が開く



フィルムをつめましょう

キヤノンが生んだ簡単なQL (Quick Loading) 方式です。どなたにも失敗なく、ごく簡単につめられます。

- 1 巻戻しクラックを起こして引上げ、さらにノブ全体を上へ引っぱると、裏蓋が開きます。
- 2 カバーをいっぱいに開き、フィルム室にフィルムのパトローネを入れます。
- 3 巻戻しノブを押下げます。

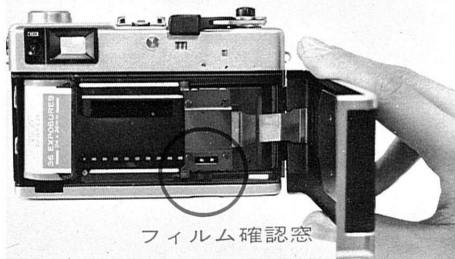


フィルム先端を赤マークまで

マローネ
が浮かぬよう押える

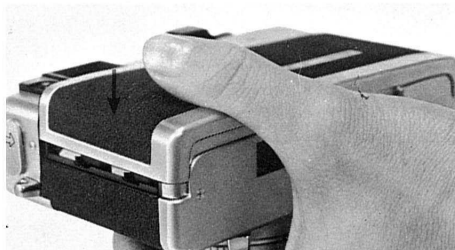
4 フィルムの先端を赤いマークの位置に置きます。

フィルムにたるみができたら、たるみ分をパトローネの中に返してください。

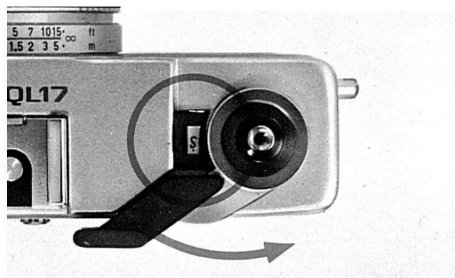


フィルム確認窓

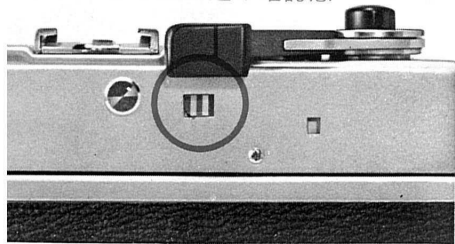
5 裏蓋を閉じます。
裏蓋を半ば閉じると、カバーがフィルムを抑えます。そのとき確認窓で、フィルムがスプロケット（歯車の歯）にかみ合っているかどうかたしかめてください。



6 裏蓋を押付けて閉じます。



フィルム送り確認窓



シャッターチャージシグナル



レバーを動かなくなるまで巻上げてフィルムを送ります。

レバーが動かなくなったら1枚目の撮影準備OKで、フィルム枚数計は1を示しています。ただし途中のコマでもシャッターを切ることができます。

●フィルム送りの確認

フィルムが正しく送られているときは、フィルム送り確認窓で紅白の縞が動きます。これが動かないときは、フィルムをつめ直してください。

●シャッターチャージの確認

フィルムを巻上げて、つぎの撮影準備ができると、シャッターチャージシグナルは赤になります。撮影が終わるとシグナルは白に変わります。

※キャノネットQL19にはありません。

ASA感度セットレバー
を押しながら動かすと



ASA 感度を合わせる

ASA感度セットレバーを押しながら動かすと、レンズ鏡筒上部のASA窓の数字が移動します。ご使用のフィルム感度はフィルム外箱に明示されていますから、その数値を窓にセットしてください。

ASA窓に感度がセットされる



ASA窓の数字の中央にある点は、それぞれカッコ内の数値を示しています。

(32)(40)(64)(80)(125)(160)(250)(320)(500)(640)
ASA 25・・50・・100・・200・・400・・800

シャッタースピードを指標に合わせる



オートマークを
指標に合わせる

ASA感度セットレバーに
お天気マークを合わせる



1 EE 撮影

1 はじめに、A（オート）マークにセットします。

絞りリング上のAという赤い文字を指標に合わせます。これで被写体の明るさにふさわしい絞りが自動的に決まるEE撮影ができます。

2 シャッタースピードをきめる。

シャッターリング上の数値は $\frac{1}{60}$ 秒、 $\frac{1}{30}$ 秒などの分母を示していますから、数が大きいほど速いシャッタースピードです。

シャッタースピードを決めるとき、お天気マークを使うと便利です。 シャッターリングを回して、室内 ☼☐ 曇天 ☁ 晴天 ☼☉☼

のマークから、その時の条件に適したマークを選び、ASA感度セットレバーに合わせます。

ASA 100 のフィルムを使うとき

晴天は $\frac{1}{500}$ 秒、曇天は $\frac{1}{125}$ 秒、室内は $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。

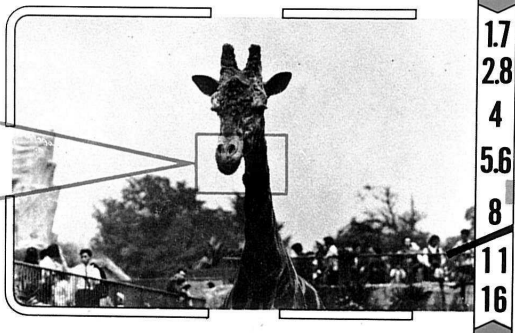


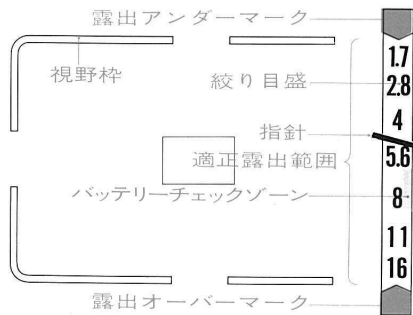
3 ピントを合わせる
 ファインダーをのぞいて、フォーカシングレバーを動かして、中央の黄色い部分で、二重の像がピタリと一致するように合わせます。

ピントが合っている



ピントがはずれている



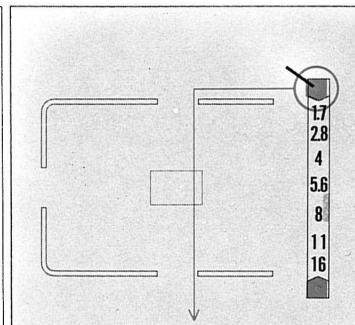
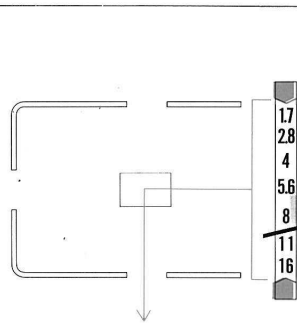
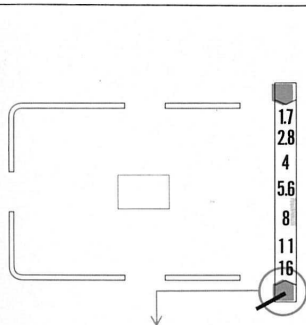


ファインダー情報の確認

4 ファインダー内には撮影に必要なあらゆる情報が集められています。ファインダーの指示どおりに撮影をすすめれば、どんなときにも適正露出のきれいな写真がとれます。

ファインダー内のマークをご説明しましょう。

- 視野枠——黄色い枠でかこまれた範囲が写ります。この枠のなかで構図をきめてください。
- キヤノネット Q L19は絞り値が1.9～16まで表示されています。



指針が露出オーバーマーク内のとき

リングを左へ回す。いっぱい
に回しても指針が動かないと
きはNDフィルターを用いま
す。



指針がこの範囲にあれば、EE
撮影OKです。

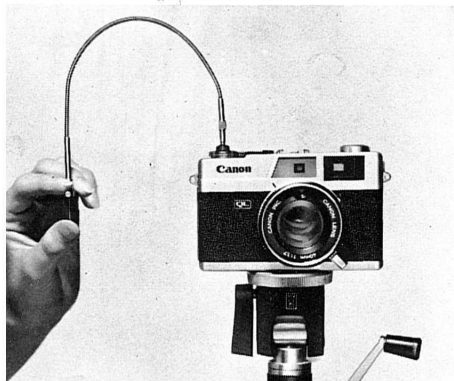
EE

指針が露出アンダーマーク内
のとき

シャッターリングを右へ回す。
いっばいに回しても、指針が
赤マークから
出ないとき
フラッシュ撮
影に切替える。



● EE撮影の安全装置 指針が適正露出窓にないときはシャッターを押しても切れません。



● $\frac{1}{30}$ 秒以下のスローシャッターのとき

指針が適正露出範囲にある場合でも、 $\frac{1}{30}$ 秒以下のスローシャッターの場合は、キヤノライトDのご使用をおすすめします(P.21 参照)。ぶれのない鮮明な写真がとれます。

● $\frac{1}{30}$ 秒以下でEE撮影をするときは、ブレ防止のため三脚とレリーズの使用をおすすめします。



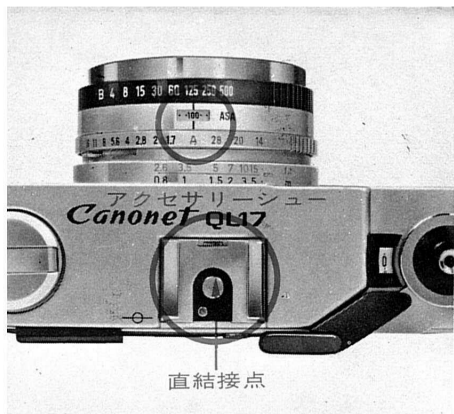
5 シャッターボタンを押すときの注意

- シャッターボタンは、ぶれないように深く静かに押してください。
- カメラを構えるとき、少なくとも片方のひじは体にぴったりつけ、カメラを額につけて固定すると、ぶれが防げます。

撮影を快調に進めましょう

シャッターボタンを押したら、レバーを巻上げてフィルムを送ります。

一たん撮影しはじめたら、ファインダーをのぞいて、ピント、露出を確認し、シャッターボタンを押すだけです。



直結接点

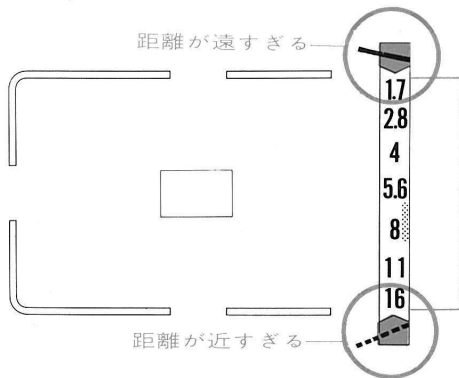


フラッシュオート撮影

専用ストロボのキャノライトDを用いれば、EE撮影同様の簡単さでストロボ撮影ができます。

●キャノライトDを用いた撮影手順

- 1 絞りリングはAにセットしたままです。
EE撮影と同じです。
- 2 アクセサリースューに、キャノライトDを取付けます。
- 3 ピントを合わせます。

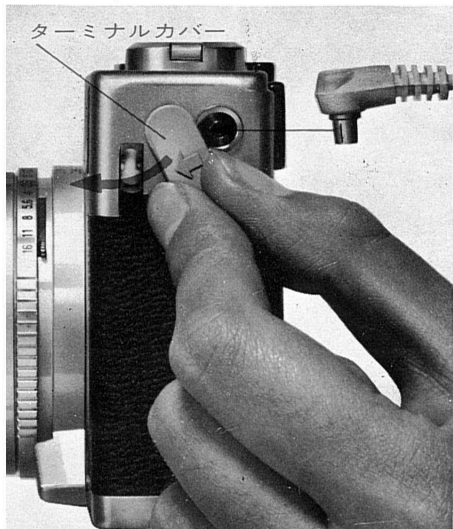


4 メーター指針を確認します。

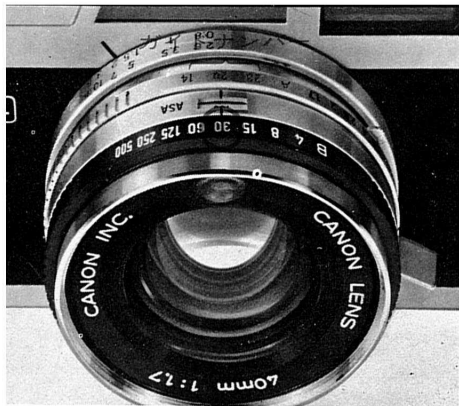
キャノライトDの発光準備態勢が整うと、指針はEE露出範囲に出てきます。

指針が赤マークにはいったときは、距離が遠すぎるか近すぎる場合です。指針がEE撮影範囲に来るよう撮影距離をとりなおしてください。指針が上の矢印にはいったときはもっと被写体に近づき、下の矢印にはいったときは、遠ざかってください。





- キヤノライト D を取付けると、メーター回路は自動的にフラッシュ用に切り換えられ、撮影距離に連動して絞りが自動的に選ばれます。
- シャッタースピードは $1/30$ 秒より速い秒時にセットしてください。
- 撮影距離が連動範囲外の場合は、シャッターボタンを押してもシャッターが切れません。
- キヤノライト D 以外のものを用いた場合
発光器をアクセサリシューにとりつけ、ターミナルカバーを矢印方向に回してコードの先端をターミナルに挿入します。



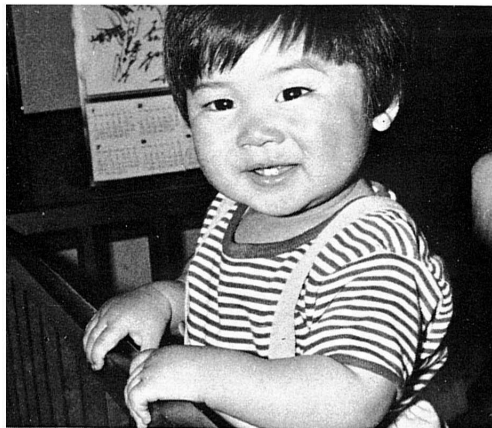
1 絞りリングを回して、Aをはずし、

2 フラッシュバルブまたはスピードライトのガイドナンバーの数字を指標に合わせます。リング上には、28, 20, 14の三種が刻まれています。ガイドナンバーはフィルムの種類に関係なくASA100のときの数値を用います。

3 フラッシュを用いる場合は、シャッタースピードを30 ($\frac{1}{30}$ 秒)に合わせます。ストロボの場合は、シャッタースピードはどこでもかまいませんが、ブレを防ぐため $\frac{1}{30}$ 秒より早いシャッタースピードをおすすめします。

4 距離合わせに連動して適正絞りが決定することは、専用キャノライトDの場合と同じです。ピント合わせをして、指針が適正露出窓にはいるよう、撮影距離をとってください。

- 撮影距離が連動範囲外の場合は、シャッターを押しても切れません。



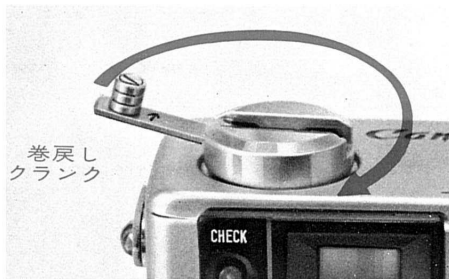
キヤノライトD使用による作例 : 夜でも室内の暗い場所でも完全にキャッチ.





フィルムの巻戻し

フィルム枚数計の数値を見れば、フィルムが終りになったことがわかります。フィルムがなくなると、巻上げてもレバーが動きません。



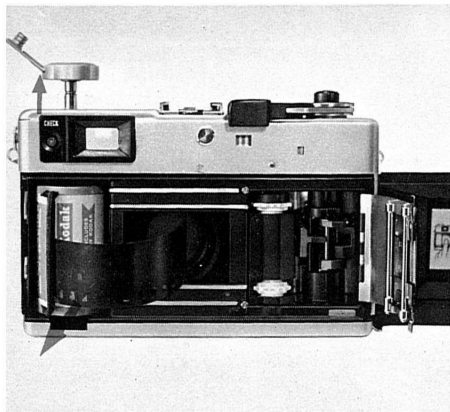
撮影したフィルムは、裸のまま送られていますから、そのまま背蓋を開くと感光してダメになってしまいます。かならずもとのパトローネに巻戻してください。

1 巻戻しボタンを押込みます。



2 巻戻しクランクを引起こして矢印方向に回してフィルムを巻取ります。

- フィルム送り窓を見て、縞が動かなくなったら巻戻しをやめます。



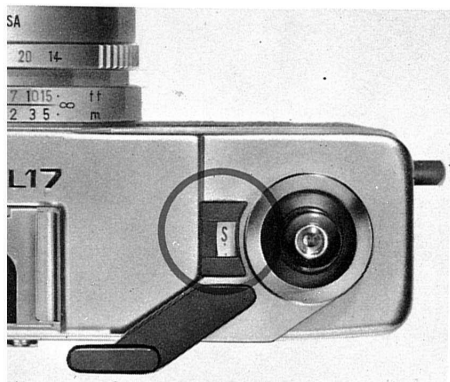
フィルムの取出し

1 巻戻しノブを上にも引上げ、裏蓋を開いて

2 パトローネを取出します。

背蓋を開くと、フィルム枚数計がSに戻ります。

巻戻しボタンは巻上げレバーを回転させると、もとへ戻ります。





絞り値とシャッタースピードをセット



●手動絞り

キャノネットでは、好みのシャッターと絞りを組み合わせて、特殊な効果をあげる撮影もできます。

1 絞りリングを矢印方向に回して、リング上に刻まれた絞り数値（黒文字）から、好みの数値を指標にセットします。

2 シャッターリングを回して好みのシャッタースピードを指標に合わせます。

3 ピントを合わせ、シャッターボタンを押します。

●絞りリングをAからはずすとメーター回路が切れて、ファインダー内の指針は上部の矢印内に固定されます。

絞りについての知識

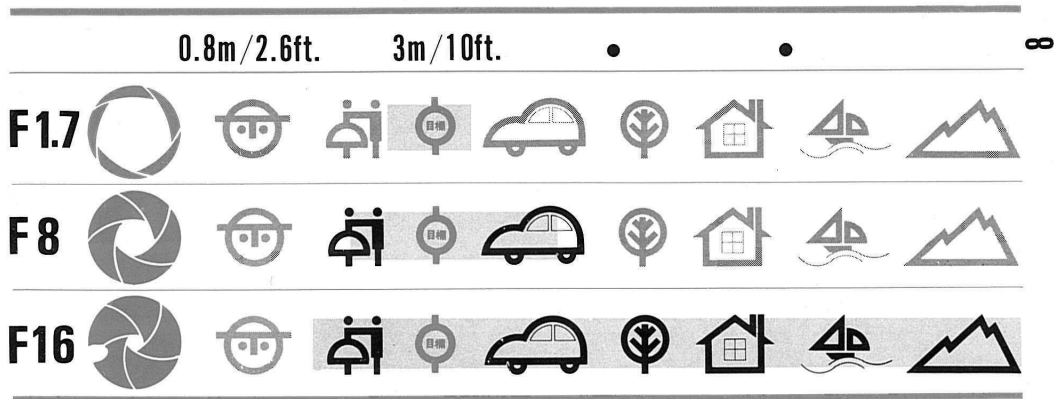
●絞り数値の意味は？

数が小さいほど絞りは開き、数が大きくなる

ほど小さく絞られていきます。目盛の1段階ごとに、光の量は半分になります。

●絞りとピントの関係は？

絞りを絞るほど（つまり数値が大きくなればなるほど）ピントの合う範囲は広く、絞りが大きくなる（絞り数値が小さくなる）ほど、ピントの合う範囲は浅くなります。



セルフタイマーレバー

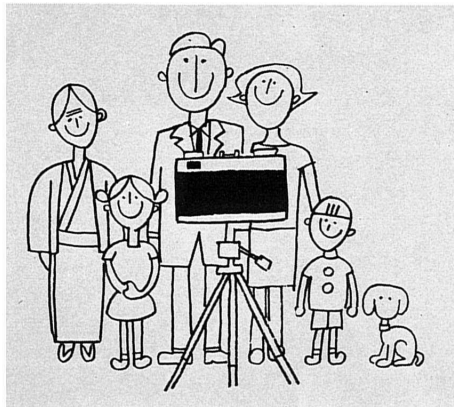


●セルフタイマー

セルフタイマーを用いると、シャッターボタンを押してから約十秒後にシャッターが作動するので、撮影者もいっしょにそろった写真がとれます。

1 セルフタイマーレバーを矢印方向に動かし、

2 シャッターボタンを押します。





バルブセットレバーを
押しながら回す



長時間露出には
レリーズを

●B (バルブ) 露出

シャッターリング上のBは、長時間露出の場合使います。B(バルブ)露出は、シャッターボタンを押している間ずっとシャッターが開き、ボタンから手を離すと閉じて露出が終了します。

- 1 絞りリングをAからはずして、好みの絞り数値にセットします。
- 2 バルブセットレバーを押込んだまま、
- 3 シャッターリングを回してBを指標にセットします。
- 4 シャッターボタンを必要とするタイムだけ押します。

■ シャッターリングの $\frac{1}{4}$ 秒からBの間は、ふだんは誤用を避けるため安全ストッパーがついています。Bから他のシャッタースピードには、リングを回せばそのまま戻ります。

キヤノネット QL17 の性能

レンズ：キヤノンレンズ 40mm F1.7 4群6枚構成 うち新種ガラス4枚

シャッター：1/4秒～1/500秒倍数系列およびB セルフタイマー内蔵

シャッターチャージシグナル付

露出計：超高感度 CdS 露出計 電源に水銀電池使用 バッテリーチェッカー付

EE 機構：シャッター優先式 露出計・シャッター・絞りの完全連動 手動絞り可能

フラッシュオート機構：専用ストロボ・キヤノライト D 使用により撮影距離と連動する自動絞り機構 一般の発光器でもガイドナンバーセットによりフラッシュオート撮影可能

EE 連動範囲：ASA 800・F1.7・1/4秒～ASA 25・F16・1/500秒

ASA 100 で EV 3.5～17

フィルム感度目盛：ASA 25～800

ファインダー：多層膜コーティングのマークファインダー 二重像合致式距離計連動、パララックス自動矯正式 倍率 0.6X 視野内に絞り値・露出警告マークを表示

シンクロ接点：X 接点

フィルム装填：早くて簡単 絶対に失敗のないキヤノンの QL 方式 35 ミリパトローネ入りフィルム専用

フィルム巻上げ：1 作動 127° 回転巻上げレバー式

フィルム枚数計：自動復帰順算式

大きさ・重量：120 X 75 X 60mm・620g

キヤノネット Q L 19の性能

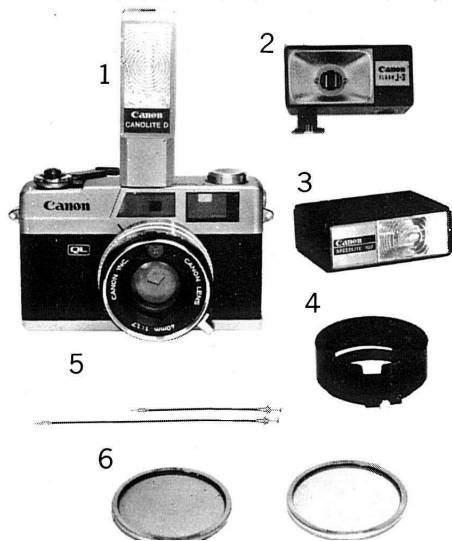
●次の性能以外はすべてキヤノネットQL17と同じです。

レンズ：キヤノンレンズ45mm F1.9 4群5枚構成

EE連動範囲：ASA800・F1.9・1/4秒～ASA25・F16・1/500秒

ASA100でEV3.8～17

シャッターチャージシグナル、バッテリーチェッカーは内蔵されておられません。



キヤノネットQL17 QL19のアクセサリ

- | | |
|--|--------|
| ①キヤノライトD | 4,800円 |
| ニューキヤノネット専用に新たに開発された直結ストロボです。フラッシュオート機構がはたらいてEE撮影とまったく同じ簡単さで夜の撮影ができます。ガイドナンバーのセット不用。 | |
| ②フラッシュユニットJ-3 | 1,050円 |
| ③スピードライト102(ケース・コード付) | 7,400円 |
| ④フード(専用) | 550円 |
| ⑤キヤノンレリーズ30(簡易ロック機構付) | 550円 |
| キヤノンレリーズ50(簡易ロック機構付) | 800円 |
| ⑥キヤノンフィルター48mm各種 | |
| 黒白フィルム用・カラーフィルム用 | 900円 |

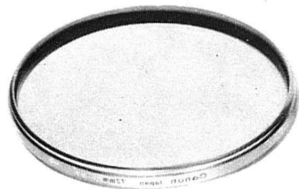


● 使用上のご注意

- ①カメラは、高温な場所に長時間置かないようにしてください。とくに直射日光の当たる乗用車のトランク内やリヤウィンドーなどは、大へん高温になることがあるのでご注意ください。
- ②カメラを長期間お使いにならないときは、ケースをはずし、水銀電池を抜いて、湿気やチリの少ない場所に保存してください。

● フィルターをご使用のときは

明るさを測るCdS受光窓もいっしょにカバーされます。したがって補正の必要がなく、そのままEE撮影できます。



フィルター



Canon

キヤノン株式会社

キヤノンカメラ販売株式会社

東京都中央区銀座5-9-9 〒104 ☎(03) 572-4251

東京営業所	・(105) 東京都港区芝公園11-6-2	(03) 432-8111
横浜営業所	・(231) 横浜市中区南仲通り4-39 (石橋ビル1階)	(045) 201-2176
銀座サービスステーション	・(104) 東京都中央区銀座5-9-9 (吹原ビル1階)	(03) 572-4251
大阪営業所	・(541) 大阪市東区瓦町5-39 (大阪化機会館3階)	(06) 202-6761
＊ 京都分室	・(600) 京都市下京区四条通東洞院角 (富国生命ビル4階)	(075) 241-3865
大阪サービスステーション	・(530) 大阪市北区梅田2 (第一生命ビル2階)	(06) 341-9335
営業所・サービスステーション		
札幌	・(060) 札幌市北三条西4-1 (第一生命ビル4階)	(011) 231-1313
仙台	・(980) 仙台市一番町3丁目1番1号 (富士ビル8階)	(022) 22-1571
新潟	・(950) 新潟市東大通1-4-1 (マルタケビル7階)	(025) 46-0131-3
静岡	・(420) 静岡市鷹匠2-7-2 (静米会館1階)	(0542) 55-2241
名古屋	・(450) 名古屋市中村区堀内町4-1 (毎日会館2階)	(052) 581-3811
岡山	・(700) 岡山市平和町4番7号	(0862) 22-8228
広島	・(730) 広島市城町14-11	(0822) 21-4615-6
福岡	・(812) 福岡市博多駅前4-20-23 (セントラルビル1階)	(092) 41-4172

PUB. K0064-0354N

0571N7

PRINTED IN JAPAN